月刊 かわごえ環境ネット

2016年1月号 No.111 http://kawagoekankyo.net

2015 年 12 月 26 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

コラム　川越の自然を訪ねて（39）キツネノカミソリから見る自然界のふしぎ 2
私のエコぐらし（17）果樹を鉢植えで楽しむ 2-3
報告　かわごえ環境ネットの活動（3 題） 4-6
会員・地域・流域の活動（5 題） 7-9
理事会・専門委員会（5 題） 9-11
予告　かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事 11-13
会員・関係団体の主催・関連行事 13-15
広報委員会からのおしらせ 15
イベントカレンダー（12 月 30 日～2 月 20 日） 16

【巻頭言】川越の新たな環境行動計画づくりと風景保全への行動を

2013 年から 3 年間実施した
「笠幡水田再生プロジェクト」
（2015 年 9 月 2 日笠幡地内）

東洋大学川越キャンパスの森林を保全する「こもれびの森・里山支援隊」
（2015 年 12 月 7 日）

小江戸川越ライトアップ 2015
（2015 年 12 月 19 日鍛冶町広場）

新年あけましておめでとうございます。本年がみなさまにとってよい年であることを祈念いたします。

2016 年は、川越市の今後 10 年間の環境政策の基本となる「（仮称）第三次川越市環境基本計画」が始まる年です。また、パリ協定が採択されたことにより国が新たな地球温暖化対策計画をこの春までに立て、実施されます。さらに、4 月からは家庭にも電力自由化が及び、私たちの行うべき環境行動は大きな変化を迎えることでしょう。川越に関係するすべての人がすべき行動は、新しい「川越市環境行動計画」に 2016 年度中にまとめられます。2025 年に向けて新たな行動計画をみんなで作っていきましょう。

川越は古いものや文化を大切にする風土が培われてきました。中心市街地は、先人の築いた建築物を保存、復元し、電線類地中化や石畳の整備により、よい風景が創られました。一方で、自然環境を支えてきた農地、林地はこの 10 年間で急速に失われ、さらに残った土地の担い手も不足し、私たちが享受してきたよい風景が失われつつあります。

私は、「かわごえ里山イニシアチブ」や「こもれびの森・里山支援隊」など、地域協働により田んぼや森林の保全を進める団体に関わりを持つ一方で、「小江戸川越ライトアップ」という川越の夜の風景を創る活動にも携わることができました。風景はみんなで守り、創るものです。あなたも、2016 年から風景保全への行動を実践してみませんか。

（かわごえ環境ネット理事長　小瀬博之）

【コラム】川越の自然を訪ねて（39）キツネノカミソリから見る自然界のふしぎ

毎年キツネノカミソリを観察していると開花時期に開きがあり、いつごろ観察会を開くか苦労するものです。そのように気難しい植物の世界ですが、2015 年は例年とは違った現象がありました。春先から暑かったり、寒かったりの繰り返しに加えて、雨が少なく乾燥した状態が続いたためでしょうか。広範囲にわたり観察したわけではありませんが、入間川流域に隣接する地域の観察からの結果を報告します。

池辺公園と市民の森 8 号・川越水上公園・河越館跡の 4 か所から表のような結果が出ました。

キツネノカミソリの開花状況

月日	池辺公園	水上公園	市民の森 8 号
7/21	開花 2 株 隣接民有地 も 2 株	広く開花	
7/29	開花 10 株 他は花芽無	花の終わりと開花地域	道右地域満開 道左地域 歩路右・満開 歩路左・花芽なし
8/4	開花 10 株 他は花芽無	広く開花	
8/12	開花 5 株 他は花芽無	実・花後・開花・花芽状態と同株に混合	
8/21	開花 133 株 花後・実 43 株 花芽 4 株	3 度目の開花 新場所開花	道右地域 再度満開 道左地域 歩路右再満開 歩路左満開に

月日	河越館跡
7/29	2 株開花、他花芽無
8/14	開花 12 株、花芽 38 株、花後 4 株
8/21	開花 181 株、花後・実 12 株、花芽 12 株

このように多少の時間差ではなく、開花時期に 1 か月の開きがあること。満開の時期が 3 回あったと思われる水上公園、同じく 2 回あったと思われる市民の森 8 号地、例年よりも開花数が少なかった池辺公園。例年よりも開花数が多かった河越館跡。個人的な印象として以上のように受け止めることができるかと思います。

その結果、同一株グループに、すでに花が終わり実の状態・開花中・まだ花芽の状態が混在している現象を観察できました。

キツネノカミソリ（2015 年 8 月 12 日）

興味深いのは市民の森 8 号でした。散歩道を挟んで、片側はすでに満開の状態であるのに対し、その反対側はまだ茎の姿も確認できない状態という現象がありました。道を間に 5m と離れていない、日差しも同一条件である地面一帯で、こうした現象はこれまでに観察経験はありません。遅れていた地域はほぼ 3 週間後にようやく開花したのではないかと想像します。

これは数少ない観察結果からの推測ですが、植物の生き延びるための知恵、自然対応力と言えるのでしょうか。

また春の花であるホトケノザは、10 年前には 12 月に数株開花していると、もう咲いているよと珍しがったものですが、今年は既に 10 月には一面に咲いている状態でした。地球温暖化によるものとのみ受け止めてよいのでしょうか。

（菅野仲夫）

【コラム】私のエコぐらし（17）果樹を鉢植えで楽しむ

木を植えることは環境によいことはもちろん、暮らしの中に自然をとり込む意味で心身ともによいことではないでしょうか。その木に実が成って食べられたら楽しさも倍増します。

今回は次の 3 種類について、鉢植えで実の成らせ方など、私のやり方を説明したいと思います。

レモンの鉢植えについて

無農薬で完熟した黄色いレモンは健康によさそう。

挿し木苗を育てること 3～4 年目の春には花芽がつきます。置肥と水の管理は大切、太陽は半日にて十分です。柑橘類の実は枝先に成るため枝先の花芽を咲かせることにします。枝の途中の花芽は小さいつぼみのうちに取り、捨てます。枝先の花は 1 個だけ咲かせることが大切ですが､充実した枝なら 2 個ぐらいまで可能です。

今年は花芽が着かなかったと放任せずに、来年に向かって粘り強く置肥と水の管理を行い、葉が落ちることなく小枝を多く増すことがポイントです。

なお、レモンの木を地植えにした場合は根が走り過ぎて実が落ちてしまう場合があります。

夏ミカンの鉢植えについて

レモンの木同様に挿木苗で育てます、植木鉢は徐々に大きくします、鉢の大きさは最大で菊鉢口径 30cm ぐらいまでの経験はありますが、成る実の数は 8 個が限度です、9 個成らせたら途中で 1 個落ちてしまいました。甘夏の収穫は 3 月中に終わらせ､5 月ごろの花咲きに備えます。

置肥と水の管理が大切です、花の咲かせ方もレモンに同じです。

注）レモン、甘夏ともにアゲハ蝶が来ます。新芽部分に産む黄色い小さい卵は指先で落とせばよい、また孵化した幼虫は黒色、小さいうちに取り去ればよい。消毒はしない。なお、甘夏ミカンは地植えが理想です。若干放任向き、伸び過ぎた枝を整理する程度で実成します。

たくさん実がつくと生理落下で木自身が実の数をコントロールしてくれます。実を大きくする方法は、実が青色の 8 月末ごろに市販鶏糞を枝下まで全面にばらまきします。

盆栽柿の鉢植えについて

この柿は観賞用です、実の大きさは小指先の 1 節ぐらいで細長い形状です。この柿はオス木とメス木があり花に違いがあります。オス木の花は、提灯形で小さくたくさん咲きます、一方メス木の花はヘタ付き花でヘタ部の実が育ちます。メス花は適当に咲き受粉も不要です

最近、鉢植え柿は人気があります。その理由は、花が少ない冬場に柿色の実が輝いて見られることと、10 月から 3 月ぐらいまで長期間鑑賞できるためかと思います。

挿木増殖のやり方

5 月中旬ごろ新稍挿しです。

挿穂は葉を 1 枚付け、切り口は平らでよい。

切り口にルートンをまぶす、ルートンは市販品。挿し土は鹿沼土小粒がよい。

細棒で挿し穴を明け､挿し穂を入れ土を押す。

挿し土の入れ物は浅箱で底が網状のものがよい｡挿木した浅箱は大きめの発泡魚箱に入れる。

全体を大きめのビニール袋で覆い､湿度 100%に保ち半日陰に置く。底水を保つことが大切。

（かわごえ環境ネット個人会員　渡辺利衛）

レモン鉢植え（35 個成る）

夏みかん鉢植え

盆栽柿

【報告】かわごえ環境ネットの活動

上戸小学校　わくわくタイム協力

ヒマラヤスギを見上げて

落ちている物探し

お腹の大きなカマキリ

11 月 27 日（金）は上戸小学校の「わくわくタイム」のお手伝いでした。春に続いて、東洋大学構内で「自然探し」です。春は「大越記念庭園」で活動しましたが、秋は「こもれびの森・里山支援隊」活動場所近くの「こもれびの道」をメインにおいて、ぐるっと回る「落ちてるもの拾い」でした。心配した天気も前日と違って、スッキリとした秋晴れとなり、 約 80 名の 4 年生と協力者 6 名（小瀬理事長、賀登、菅野、森田、横山+学生）で構内を巡りました。

火曜日の下見では、ドングリ 3 種、枯葉いろいろ、ジョロウグモと収穫が少なく「地面を掘ってみようか？何かあるかも。」と不安があったのですが、やはり大勢の目と、子供視線は凄いです。息も絶えだえながらのスズメバチ、カマキリなどを見つけることができました。恒例となっている最後の「見つけた物発表」では、死んだハト、ヘビの抜け殻、セミの抜け殻、バッタ、ギンナン、カリンの実、ドングリ、ジャノヒゲの実、ムクノキの実、メタセコイヤの葉と実、マツボックリ、アオハダの実、ヒマラヤスギの実、芽の出たドングリ、キクラゲ、キノコ、など全部で 30 種類。昨年名前が判明した「ケバエ」のモジョモジョ幼虫も健在でした。

今回のお土産は、落ち葉堆肥にいた「カブトムシの幼虫」でした。現場では触れない子もいましたが、最後のまとめ時には列をなして触っていました。学校に持って帰って育ててもらいます。担任の先生が「虫好き」なので、来年の春の活動時に東洋大学の雑木林に帰ってくるかな？

（横山三枝子）

環境講演会「環境みらい都市川越に向けて」開催報告

第 1 部　講演会（小野田弘士講師）

11 月 28 日（土）に環境講演会をウェスタ川越で開催し、43 名の参加者がありました。

今回の環境講演会は 2 部構成にし、第 1 部は小野田弘士先生（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科准教授）による演題「環境みらい都市について」の講演を行い、第 2 部ではかわごえ環境ネット理事長小瀬博之氏と川越市環境政策課長箕輪信一郎氏に加わっていただき、「環境みらい都市川越に向けて」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

今回の講演内容・講師の選定に当たっては、今年度は、今後 10 年間の環境政策の基礎となる「（仮称）第三次川越市環境基本計画」の作成・検討中であることをふまえ、将来の川越の環境を考えるのに役立つテーマとしたわけです。

小野田先生はさいたま市出身で、内閣府の「地

域活性化伝道師」に登録されており、また、本庄市を始め、数々の都市で「環境都市設計」のコンサルタントやアドバイザーを行っていることから、今回の講演には適任者と考え、すでに 6 月の時点で講師の了承を取り付けた次第です。

また、従来の講演のように、講師だけの話で終わっては、川越の将来の環境を考えるインパクトが少ないとの発想から、行政側からも参画していただくパネルディスカッションを設けたのです。

9 月に小野田先生と具体的な講演内容を打ち合わせた際、資源化センターや市内の見学希望もあり、講演当日の午前中には小瀬理事長にガイド役をお願いし、川越市内の環境ツアーも行いました。本企画は、パネルディスカッションの質疑応答に随分役立ったと思います。

第 1 部の講演ですが、「スマートコミュニティ」・「環境未来都市」の概念・考え方の説明では、市民不在の政策や行政と民間とのギャップ等の問題点を指摘され、地域の特性・強みにあった施策が大事であると強調されていました。「スマートコミュニティ」の事例として、「北九州八幡東田グリーンビレッジ」、「本庄スマートエネルギータウン」、「秩父フォレスト・ショッピングモール」、「長野県飯田市かぶちゃん村」等を取り上げて説明されました。特に、太陽熱・地中熱の利用と事業化スキーム、バイオマス（バイオガス、バイオオイル）の発電・熱供給利用、水素を利用した小型燃料電池車や（圧縮）空気エンジンによるモビリティ開発・活用等の先端技術の応用例は未来のまちづくりのヒントになるものと思いました。

第 2 部　パネルディスカッション

第 2 部のパネルディスカッションでは、箕輪課長から、「（仮称）第三次川越市環境基本計画」の骨子の説明、小瀬理事長からは、かわごえ環境ネットの活動並びに環境行動計画であるアジェンダ 21 の活動概要、川越の環境みらい都市を考える上での課題（論点）が述べられました。小野田先生から、川越での環境みらい都市に向けての考え方が述べられた後、あらかじめ提出いただいた参加者からの質問も含め、質疑応答が行われました。

小野田先生からは、川越は、商業地区、工業団地、農作地帯等の地域特性による違いがあるが、それぞれの地域ごとに未来の環境を考えればよく、結果として全体を上から見渡せば環境みらい都市になっているのではないかとのご意見や、生ごみ問題でも 35 万人都市の規模からして、資源化センターの中にバイオマス施設を作れば、有効利用できるのではないかとのアドバイスもありました。最後に「川越を見て感じたことは、元気な町であること。元気があれば、未来に向けた都市は作っていける」との締めの言葉をいただきました。

今回の環境講演会は、内容的に少し難しいのではないかとの危惧もありましたが、参加者からのアンケートでは、半分くらいの方が「テーマに興味があり、内容もよく理解できた」と回答をいただき、主催者側として安堵した次第です。

（宮﨑誠）

歳末まち美化活動（12 月 23 日）の報告

本川越駅前交番横で集合写真（参加者 31 名）

2003 年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、13 年目の今年も天皇誕生日 12 月 23 日（水・祝）に実施、本川越駅前交番横から市内中心部を 8 コースに分かれてごみ拾いをして回り、中央公民館前でごみの分別を行った後、旧川越織物市場で太麺焼きそば(有志差し入れ)を食べて解散しました。

当日は 9 時 30 分に本川越駅前交番前に集合、参加者は 31 人、今年も武州ガスの社員ご家族 6 人そして社長も参加、また Facebook で活動を知った鶴ヶ島市からの参加者も 5 人。

責任者の渡辺利衛さんより、収集の仕方とコースの説明を受け、集合写真撮影の後、8 コースに分かれクリーン活動を開始しました。

小さなたばこを拾うのは根気がいります

各コースは、本川越駅を出発し、川越駅、川越市駅やクレアモール、喜多院、川越城本丸御殿等の中心市街地や名所旧跡の観光地を回りながら中央公民館に向かいました。冬に相応しく肌寒い中、参加者はまち美化活動のゼッケンを着け、ごみを拾いながら、「空き缶・紙くず・たばこなどのポイ捨て止めましょう！」をアピールしながら師走の市内中心部を進み、中央公民館でごみの分別作業を行いました。

中央公民館でごみ分別作業

その後旧川越織物市場に移動し、中庭で熱いお茶と川越名物の太麺焼きそばを食べ、歓談して解散しました。

ごみ拾いは、まち美化の効果とともに、屈伸や歩行を行うことにより、エクササイズ（exercise 英語で運動の意）の効果もあります。来年も振るって多くの方々のご参加を!!

今回、読売新聞川越支局長鈴木氏の取材があり記事は 12 月 24 日（木） 朝刊 埼玉県西版に掲載されました。　（菊地三生）

【読売新聞 記事の内容】※写真付きです。

川越市中心街　ごみ拾いで美化

街をきれいにして新年を迎えようと、川越市中心市街で 23 日、「歳末まち美化活動」が行われた。市民と企業などの「かわごえ環境ネット」の恒例行事で、西武新宿線本川越駅に約 40 人が集合。8 コースに分かれ、吸い殻や空き缶を 2 時間、拾い集めた。

責任者の渡辺利衛さん（77）は「路上のごみは年々減っている」と話し、参加した樫又桜子さん（10）、薫子さん（7）の小学生姉妹は「すっきりした気持ちでお正月を迎えられそう」と笑顔だった。

【報告】会員・地域・流域の活動

「川越 Farmer's Market」参加と「生きものを育む田んぼプロジェクト」かわごえ里山イニシアチブ

かわごえ里山イニシアチブでは、12 月 13 日（日）に蓮馨寺で行われた第 2 回となる「川越 Farmer's Market（ファーマーズ マーケット）」に参加しました。

エントリーとして、農と自然の恵みを伝える生物多様性バンド「百生一喜」による「生物多様性里山ソング&トークライブ」を筆頭に、昔ながらの足踏み脱穀体験を行いました。

また、生きものを育む環境保全型農業による農産物として、高梨農園の耕福米、マコモ茶、乾燥マコモを販売協力し、農産物による生物多様性の理解に努めました。特に今回は、全国の田んぼで農薬を使わないイネつくりに先進的に取り組まれている民間稲作研究所の稲葉光國氏にも参加していただき、消費者に生きものを育む田んぼへの理解に一役買ってもらいました。

かわごえ里山イニシアチブでは、このようなイベントを通じて、生きものや生きものの賑わいを取り戻す大切さを伝え、地域農業の活性化につながるように微力ながら貢献できればと願って活動しています。

2016 年は、その一環として「生きものを育む田んぼプロジェクト」をスタートさせます。

このプロジェクトでは、無農薬米を会員制により販路と経費を確保して栽培し、また、事前予約米として、消費者に安心で安全なお米を適正価格で提供できるようなモデル作りをかわごえ里山イニシアチブがサポートします。

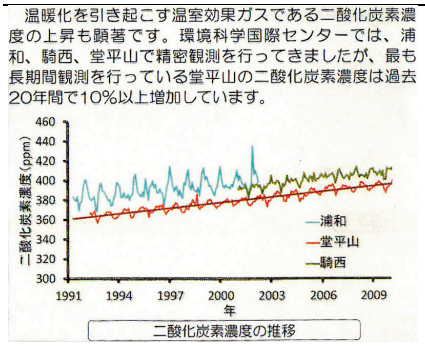
このようにかわごえ里山イニシアチブでは、生きもののにぎわいを取り戻すために、あらゆる面からのサポートを今後も続けて参りますのでご支援ください。　（増田純一）

熱演する百生一喜バンド

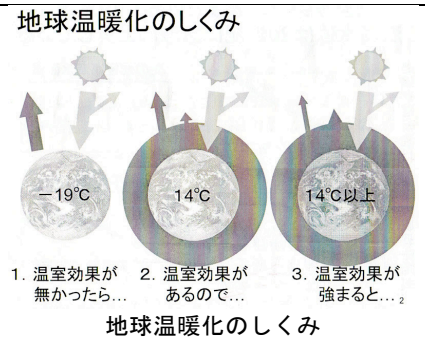
脱穀体験

生きものを育むかわごえ里山のブース

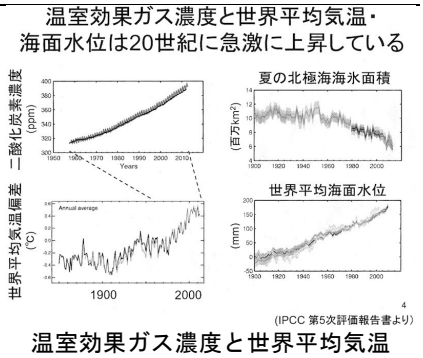
市民講座「地球温暖化ってなに？私たちが今 出来ることは」



埼玉県の二酸化炭素濃度の推移



地球温暖化のしくみ



温室効果ガス濃度と世界平均気温

川越市文化芸術振興課が募集していた市民講座に応募して 11 月 4 日(水)、18 日(水)、12 月 2 日(水)の 3 回名細公民館で上記の講座を開講しました。最低 10 名以上が開講の条件だったのでかわごえ環境ネットの方達の応援を得て開講することができました。

海に生命が誕生し、さらに酸素が作られ、陸上に植物が、動物が栄えと、地球の長い歴史上には氷河期あり、高温期や海面膨張期ありと変化の歴史だったようです。1 万年前から現在の

ような穏やかな気候になっています。産業革命までは炭酸ガス濃度は 280ppm 以下で経過してきたようです。

産業革命が始まるころの二酸化炭素濃度は約 280ppm だったのが 2015 年には 400ppm を越えました。

地球は太陽からのエネルギーで暖められ、暖められた地球からも熱が放射されます。大気に含まれる二酸化炭素など（メタン、窒素酸化物、フロン類も含む）温室効果ガスはこの熱を回収し再び地表に戻す働きをしています。人為的な活動により温室効果ガスの濃度が増加し、太陽によってもたらされる熱を逃がすことができず地球は暖められ温度が上昇しています。この 100 年間で地球全体の平均気温は約 1℃上昇しています（熊谷地方気象台による観測データでは、100 年間で 2 度上昇しており、1980 年からの上昇率を 100 年に換算してみると 5.3℃の上昇に相当）。

地球温暖化防止のためにできるだけエコの生活をしよう。

例えばマイカーにはできるだけ乗らない、乗る時は赤信号ではアイドリングストップする、スタート時 20km になるのに 5 秒かける。フードマイレージを考えて地産地消川越産のものを食べよう。小麦は 9 割が外国からの輸入なので、パンよりも、米、ごはんをもっと食べよう。旬の野菜はハウス栽培の 5 分の 1 のエネルギーなど。

2 回目には森林の力と恵み、さらに CO_2 吸収源としての大切さを話しました。日本学術会議の試算によれば森林の働きをお金に換算すると年間 70 兆円に上るとされています（土壌流失防止、水質浄化、水資源の貯留、洪水の緩和など）。

この森を支えているのが土壌です。落葉などを土壌中の無数の微生物が分解することによって土壌が作られます。この微生物たちの力で家庭から出る生ごみを土に還す方法を話しました。生ごみは 90%ぐらいが水分なので、ごみに出す時は乾燥して出せばエコになることも。

オーストリアでは 10 年前くらいからエネルギー源として木質燃料チップを燃やすボイラーや薪ストーブが一大産業となるくらい家庭に工場に進出していることなども。

3 回目は、未来のエネルギーといわれる水素エネルギーについて。昨年トヨタから燃料電池車が発売されました。その仕組みについて。さらに「エネファーム」についても話しました。

（浜尾春子）

第 6 回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉　12 月 12 日大宮ソニックシティで開催

6 回目を迎えた低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉は「つながろう広がろうエコの環」を合言葉に、県下の環境活動関係者が大宮ソニックシティに集まり、12 月 12 日（土）10 時から 16 時半にわたって基調講演、分科会が開かれました。

午前の基調講演は、「2030 年：熱い埼玉！都市の低炭素化への戦略は」と題して、早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科の高口洋人教授の講演がありました。ちょうど、パリで COP21 の大詰めのときで、興味深い題材を交え示唆に富んだ講演でした。①地球温暖化対策の方向性、②地球温暖化対策へのアーキテクチャーの役割、③ビルの省エネ化への課題、④計画的な社会像への道筋と論を進め、イノベーター理論の展開が大切と締めくくられました。

午後は、①くらしのエコ、②生きものと環境教育、③化学物質と食、④低炭素な地域づくり、⑤ESD 持続可能な地域活性化のために、の各分科会が開かれ、活発な交流が行われました。

（武田侃蔵）

埼玉県の新河岸川流域川づくり懇談会　11 月 28 日朝霞市で開催

埼玉県総合治水事務所主催で、川越、朝霞、飯能の 3 県土事務所と関係市の河川関係者、および市民団体が参加して意見交換する「新河岸川流域川づくり懇談会」が、11 月 28 日（土）午後、朝霞市のリサイクルプラザで開かれました。川越市からは川の国応援団の「クリーン&ハートフル川越」と「川越の魅力を育てる会」の代表が参加しました。

各県土事務所から、今年度と来年度の工事予定の説明の後、災害社会工学についての講演がありました。9 月の鬼怒川災害の記憶が生々しい中、「これからの地域防災における災害社会工学の役割」と題して、東洋大学理工学部都市環境デザイン学科の及川康准教授が、豊富な資料を駆使して解説されました。想定と想定外、避難勧告の遅れ、早めの勧告で空振りなどの例を挙げての事例報告が、これからの防災について多くの示唆をいただきました。その後、市民団体の意見交換などがありました。

（武田侃蔵）

第 11 回　川でつながる発表会（12 月 13 日）

発表会の様子

冬寒の狭山市で「川でつながる発表会」が入曽公民館と不老川周辺で行われ、参加者は小学生から高齢者まで世代を超えたつながりとなりました。

午前中は不老川、子川（こがわ）、七曲井戸など、水が乏しい台地での持続可能な農業を農家の知恵で切り開いてきた跡を見学しました。

午後は発表会があり、狭山市の御狩場小学校など 4 団体が活動の取組を発表しました。御狩場小学校の発表は、「郷土の開発や市内に残っている歴史を調べるために地域の専門家を招いて学習し、現地を見学して地域の歴史を調べることができた」という内容で元気をもらいました。

このほかに、水循環の勉強会、クイズ答え合せなど楽しむことができました。発表校など多くの団体が川の再生を考える展示を行っていました。

（過昌司）

【報告】理事会・専門委員会

理事会

師走の 12 月 22 日（火）10:30-12:00 に、福田ビル会議室において 2015 年最後となる第 9 回理事会が行われました。

議題は①次年度の活動計画と役員改選について、②ウェスタ川越での講座企画、③かわごえ環境フォーラム、④後援申請についてでした。

①次年度に役員改選があるので、選考などを次回検討することになりました。なお、委員会の体制、次年度の計画も合わせて次回の検討課題としました。

②ウェスタ川越で年間 4 回の講座を「エコライフデザイン」として、市民啓発と本会の存在アピールのために、事業運営委員会が部会の協力も得て、連続講座で 7 月から行うことで主催のウェスタ川越に提案することにしました。

③かわごえ環境フォーラムについて事業運営委員会の報告がなされ、講演者とそのテーマ、かわごえカフェのテーマも決まりました。

④川越環境保全連絡協議会が 2 月 19 日（金）に行う新春講演会を後援することになりました。

後援の際は、事業終了後に報告書の提出を求めていることを確認しました。

その他、新河岸川流域水循環マスタープランを平成29年3月に作成するために準備会が発足したことが報告されました。

（副理事長　過昌司）

事業運営委員会

第 7 回事業運営委員会を 12 月 22 日（火）9:00-10:30 に福田ビル 3F 会議室において開催しました。出席者は 7 名でした。主な議事は次のとおりです。

1.報告事項

①水辺と川の小委員会

12 月 13 日（日）に「川でつながる発表会」が入曽公民館で開催された（詳細は上記報告にて）。

②歳末まち美化活動

12 月 23 日（水）に開催された（詳細は上記報告にて）。

2.検討事項

○第 14 回かわごえ環境フォーラムの開催

・環境活動報告集の投稿状況を確認した。19 件の投稿予定でページ数は 95 ページ程度である。付録等で 32 ページ必要なので、128 ページで業者に見積もりを取る。投稿原稿は年始をめどに提出してもらうように催促していく。

・発表件数は 11 件の予定のため、1 件あたりの持ち時間は 10 分となる。

・講師は、草野律子さんに決定した。基調講演は 45 分間でタイトル、肩書き等を確認する。

・かわごえカフェ 2016「2020 年に向けて 川越を知ろう・語ろう・伝えよう」の話し合いのテーマを『自然と街が調和する川越の「こまった！」を「ステキ♪」にかえよう』に決定した。住民や観光客が「こまった」と思うことを話し合って、それをどのようにすると「ステキ」になるか、テーブルを囲みながら話し合うことになる。会場の都合で飲料は各自で持ち込み、菓子等の提供はなしとする。

・1 月号の同封する「かわごえカフェ 2016」参加申込書つきのちらしの作成に合わせて、協賛の最終確認を早めに行うことにした。

・会場設営は 2 月 20 日の当日朝となる。ポスター展示は、今回は行わない。

（委員長　小瀬博之）

社会環境部会

12 月の例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて 9 名参加で行いました。

理事会報告で、不特定多数の参加するツアーを企画する場合は、旅行業の登録を受けている事業者を通さないと旅行業法に抵触することになるとのことで、来年度以降環境施設めぐりの実施方法を検討しなければならないことになりました。

11 月 28 日（土）に実施した「環境講演会」はウェスタ川越の 2 階の会議室で、参加者 43 名でした。アンケート調査の結果をみても内容ならびに運営とも好評でした。特にパネルディスカッションは初の試みでしたが、よかったとのことでした。

2 月 20 日（土）に行われるかわごえ環境フォーラム及び活動報告集について、準備状況を確認し、不足分を追加し、期限を守って報告・提出するように決めました。

また、今後の行事への参加要請をするとともに経費も若干予算が残っているとのことで有効利用するよう検討することになりました。

（社会環境部会　代表：原嶋昇治、
報告：宮崎誠）

自然環境部会

12 月例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて 7 名の参加で開催された

1.活動報告

①「(仮称) 川越市森林公園」計画地定例調査・保全活動 11/23（月）13 名参加 秋の植物、リンドウ・センブリなど観察、キノコ調査)

②11/27（金）上戸小学校自然学習支援　4 年生 78 名　東洋大学キャンパス「こもれびの森」環境ネットから 5 名サポート（詳細は別ページ参照)

③11/28（土）江遠島緑地生き物調査　5 名参加

④池辺公園定例活動　12/1 (火)　7 名参加　キツネノカミソリの播種 71 粒､ハグロソウ周辺エリアの草刈り

⑤12/8（火）キノコ会議　6 名参加　大東南公民館

2.協議事項

①今年度振り返りと来年度の見通しについて・・・会員団体との連携をしていくことで活性化ができるのではないか、チョウ・トンボなどの調査を通じて市民との関わりを模索する、などの意見がでた。

②田んぼ関係の来年度の計画について。

③コラム「川越の自然を訪ねて」の分担について

④次回、1 月から次年度の予定について話し合うので案を持ち寄ってほしい。

（自然環境部会代表　賀登環）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

第 9 回新かわごえアジェンダ 21 検討会を 12 月 22 日（火）12:30-14:30 ごろに川越昭和の街の大黒屋食堂で開催しました。出席者は 5 名でした｡新たなかわごえアジェンダ 21 に向けての環境行動のキーワードの抽出を行いました。

審議結果については、Wiki（http://wiki.kawagoekankyo.net/）の「新かわごえアジェンダ 21 検討会第 9 回（20151222)」をご覧ください。

次回は、環境像を共有するための文章づくりについて審議します。　（委員長　小瀬博之）

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事

【トピック①】2 月 20 日「第 14 回かわごえ環境フォーラム」午後の部「かわごえカフェ 2016」参加者 100 名募集

2 月 20 日（土）9:30-12:00, 13:30-17:00 に、ウェスタ川越において「第 14 回かわごえ環境フォーラム」を開催します。

午後の部は、前回に続いて「かわごえカフェ 2016 : 2020 年に向けて 川越を知ろう・語ろう・伝えよう」を 1 階の南公民館講座室 1・2 号で開催します。

川越のまちづくりに長年携わってきた草野律子さんをお招きして『「住まい」も「まち」もオーガニック　―建築からまちづくりへ―』の題目で基調講演していただきます。その話を受けて、今回のテーマである『自然と街が調和する川越の「こまった！」を「ステキ♪」にかえよう』に沿って、3 ラウンドでテーブルを変えながら 4 人単位で対話を重ねる「ワールドカフェ」スタイルでの話し合いを行い、最後にシェアタイムを設けて情報を共有します。

川越を訪れる観光客は増加する一方で、それによる弊害もあるのではないでしょうか？

例えば、道路にまであふれる歩行者で、自動車との接触事故の危険性が高まったり、渋滞を引き起こしたり。また、トイレの場所をよく訊ねられることはありませんか？

観光客にとってもっと改善してほしいと思うこと、川越に住む市民としてもっと改善してほしいこと、それを知り、語りあいたいと思いま

す。そして改善したいことを伝えていくことで、さらに素敵な街へと変わっていくと期待しています。ぜひ、参加いただき、川越を知って・語って、伝えていきましょう。

参加者は、本会の会員の有無を問わず、川越のまちづくりに興味を持つ方を広く募集します。定員は 100 名です。申込はかわごえ環境ネット事務局及び Facebook ページで行います。準備の都合上、2 月 10 日（水）までに申し込みください。

申込方法

①代表者氏名、連絡先（住所, 電話番号,Fax 番号,E-mail）、参加人数を明記して、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課環境推進担当）Fax.049-225-9800、E-mail: cafe@kawagoekankyo.net へ（または電話 049-224-5866 へ連絡）

②【かんたん】かわごえ環境ネット Facebook ページ「イベント」から申込

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

【トピック②】＜後援＞2 月 19 日開催　2016 新春講演会
～エコライフを楽しもう！自然と共生する私たちの暮らし～

気候変動による異常気象が増えています。そしてその異常気象による災害も増えています。災害リスクが高まる中、私たちの暮らしは自然との調和・そして共生が求められています。一人一人が自然と共に生きていくこと、我慢することなく楽しく暮らすこと、そんな暮らしの知恵や工夫についてお話したいと思います。

日時： 2 月 19 日（金）開場 14:45 開会 15:00 閉会 16:30

会場：小江戸蔵里 ギャラリー（川越市新富町 1-10-1）

※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

講師：飯島希氏〔元 NHK 気象キャスター、気象予報士、環境カウンセラー、防災士、かわごえ環境ネット理事〕

受講料：無料

定員：40 名（先着順）

主催：川越環境保全連絡協議会

後援：川越市・川越商工会議所・かわごえ環境ネット

お申込み：申込書（会員の方は 1 月号に同封）に事業所名、住所、参加者名、電話番号をご記入の上、Fax を送付ください（049-265-8870）。

問い合わせ先：川越環境保全連絡協議会（ウェスタ川越公共施設棟川越商工会議所内）

Tel.049-265-8860, Fax.049-265-8870

会合

●社会環境部会（2016 年 1 月度）

日時：1 月 8 日（金）13:00-15:00

●自然環境部会（2016 年 1 月度）

日時：1 月 8 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）
＊次回は 2 月 12 日（金）同時間。両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催。
＊会員ならばどなたでも参加できます

◆広報委員会（2016 年 1 月度）

日時：1 月 13 日（水）13:00-14:00
場所：川越市役所 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）
＊次回は 2 月 10 日（水）15:00-16:00 同所

◆事業運営委員会（2015 年度第 8 回）

日時：1 月 27 日（水）13:00-14:30
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 2 月 26 日（金）9:00-10:30 同所

◆理事会（2015 年度第 10 回）

日時：1 月 27 日（水）14:30-16:00
場所：福田ビル 3 階会議室
＊次回は 2 月 26 日（金）10:30-12:00 同所

●新かわごえアジェンダ 21 検討会（第 10 回）

日時：1 月 21 日（木）17:00-19:00
場所：東洋大学川越キャンパス福利厚生棟第 5 会議室（いつもの椅子席の会議室）
＊会員であればどなたでも参加できます。
＊次回は 2 月 25 日（木）17:00-19:00 同所

自然環境部会主催事業

★池辺公園定例活動（定例毎月第 1 火曜日）

日時：1 月 7 日（木）・2 月 2 日（火）9:00-12:00（通常と期日が異なります）
場所：池辺公園（川越市池辺 1302）
問い合わせ：菅野

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：1 月 11 日（月）・25 日（月）9:30-12:30
集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）
問い合わせ：賀登（049-234-9366）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会

①1 月 17 日（日）公園と共催

要項：国営武蔵丘陵森林公園南入口（入園前受付）9:50 集合、15:30 ごろ終了解散、入園料要、参加費無料、お弁当持参（レストランもあります)。雨天決行。

日本野鳥の会主席研究員安西英明さんを講師に、今年も楽しいお話をお聞きしながら冬の雑木林で冬越しに訪れたカモやルリビタキとの出会いを楽しみませんか。温かい服装でお出かけください。

②2 月 2 日（火）・③2 月 21 日（日）考える会主催

要項：集合が 10:30 である以外は①と同じ

野鳥や冬越しのオオムラサキの幼虫を調査しましょう。暖かい服装でお出かけください。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

①1 月 16 日（土）9:30-12:30 ごろ
②2 月 13 日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く
内容：農作業（B 級品のお土産付き）
会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2015 年度予定表

月	日	活動内容予定
1	16	雑木林の手入れ
2	13	雑木林の手入れ 焼き芋
3	12	雑木林の手入れ　遊ぼうパン・スープ

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪　田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（毎週金曜日午前）

日時：1 月 15・22・29 日（金）10:00-12:00

「地域交流センターみなみかぜ」に集合、農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会

日時：1 月 8 日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センターみなみかぜ

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きもののにぎわいを取り戻す活動を行っています。

◎月例会

日時：1 月 23 日（土）16:00-18:00

場所：伊勢原公民館（川越市伊勢原町 5-1-1）

毎月第4週土曜日の16時から例会を開催しています。広く意見を求めるために会員・非会員を問わずどなたでも参加可能です。日程・場所が変更になる場合もありますのでお問い合わせください。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）前日まで菊地三生（Tel.080-5546-2362）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：1 月 5 日（火）・21 日（木）

2 月 2 日（火）・18 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：1 月 10 日・2 月 14 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：1 月 23 日・2 月 27 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに渡辺（049-242-4322）へご連絡ください。

①1 月 24 日（日）9:00-11:00

□新河岸川（赤間川）赤間川公園から下流。氷川橋まで。集めたごみは北公民館裏に収集。

②2 月 28 日（日）9:00-11:00

□新河岸川（新赤間川部分）杉下橋から琵琶橋まで、2015 年 10 月に続いて、川中と土手をもう一度清掃。オアシス裏でごみ分別して解散。

◎成人式会場クリーン

日時：1 月 10 日（日）11:00-15:00

成人式会場前の広場や周辺道路の“ポイ捨てごみ拾いと歩きたばこ禁止 PR”活動。ウェスタ川越正面右側道路、南公民館入口前集合。参加予定者は用具等の準備で、1 月 8 日までに武田（090-2521-5770）までご連絡ください。

＜お詫び：12 月号で 1 月 11 日（月・祝）としましたが、川越市の成人式は、今年度は 1 月 10 日（日）に開催されます。お詫びして訂正します。＞

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時：（前号から 1 月 6 日は午後のみに変更、午前は 9:00、午後は 12:45 に集合時間を統一）

①1 月 6 日（水）12:45-15:00

②1 月 18 日（月）9:00-12:00

③1 月 22 日（金）9:00-12:00，12:45-15:00

④1 月 23 日（土）9:00-12:00，12:45-15:00

⑤2 月 6 日（土）9:00-12:00，12:45-15:00

（1 月 23 日と 2 月 6 日は、公開施業日として薪割り、落ち葉かき、腐葉土作り、チッパー作業などを行います）

集合場所（いずれも）：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口付近

＊参加いただける方は事前に小瀬までご連絡ください。

＊ブログ（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）

＊Facebook ページ（https://www.facebook.com/komorebisatoyama）

＊中止等案内（https://twitter.com/toyokomorebi/）

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウォッチング（毎月第 2 日曜日）

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・日除け帽子。参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代）

①1 月 10 日（日）10:00-12:00（小雨決行）

毎年行われるカモをカウントする日です。種類ごとにオス・メス何羽いるか数えます。長年続けて数えることで環境を知る資料となります。あなたも参加して一緒に数えてみませんか。

②2 月 14 日（日）10:00-12:00（小雨決行）

伊佐沼は全面氷結します。カモたちは氷の上を滑りながらヨチヨチと歩きます。木々の羽の落ちた公園で、コゲラ、ジョウビタキ、ツグミなどの小鳥を探します。

広報委員会からのおしらせ

●入会のおすすめ　川越市の環境を知り、活動するためにぜひご入会ください。会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866）に問い合わせるか、Web ページ（http://kawagoekankyo.net）をご覧ください。

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2016 年 2 月号（No.112，1 月末日発行予定）の掲載原稿は、1 月 15 日（金）必着です。電子データでいただけるととても助かります。原稿と写真は編集担当共有のメールアドレス（koho@kawagoekankyo.net）にお送りください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（12 月 30 日～2 月 20 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			12/30	12/31	1/1 元日	1/2
1/3	1/4	1/5 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/6 ◎12:45 こもれびの森・里山支援隊	1/7 ★9:00 池辺公園定例活動	1/8 ◎10:00 月例会（みなみかぜ） ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	1/9
1/10 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング ◎11:00 成人式会場クリーン	1/11 成人の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	1/12	1/13 ◆13:00 広報委員会	1/14	1/15 ◎10:00 農作業（みなみかぜ） 〇本紙 2 月号投稿期限	1/16 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
1/17 ◎9:50 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	1/18 ◎9:00 こもれびの森・里山支援隊	1/19	1/20	1/21 ◎13:30 まち美化啓発運動 ●17:00 新アジェンダ検討会	1/22 ◎9:00 こもれびの森・里山支援隊 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）	1/23 ◎9:00 こもれびの森・里山支援隊 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 月例会（かわごえ里山イニシアチブ
1/24 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	1/25 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	1/26	1/27 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会	1/28	1/29 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）	1/30
1/31	2/1	2/2 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎10:30 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/3	2/4	2/5	2/6 ◎9:00 こもれびの森・里山支援隊
2/7	2/8	2/9	2/10 ◆15:00 広報委員会 〇「かわごえカフェ」参加申込締切	2/11 建国記念の日	2/12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2/13 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
2/14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	2/15 〇本紙 3 月号投稿期限	2/16	2/17	2/18 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/19 ★15:00 新春講演会	2/20 ★9:30 かわごえ環境フォーラム報告会 ★13:30「かわごえカフェ」

発行日　2015 年 12 月 26 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/